

PRP-FD療法とは

PRPは「自己多血小板血漿注入療法」と言い、慢性的な関節の痛みや腱や筋肉の損傷に対して自身の持つ血小板の成長因子を使い組織の治療をする治療法です。

PRP-FD療法では患者から採取した血液中の血小板に含まれる成長因子のみを濃縮し、活性化させたものを患部へ注射し、傷んだ組織の修復を促して痛みを軽減します。通常のPRP療法と違い、成長因子の濃縮度が高く（通常の**2倍**）、無細胞なので注射後の痛みがなく、フリーズドライ加工により6ヶ月保存も可能です。また、PRPには抗炎症性サイトカインが含まれ、炎症性の痛みにも即時効果も期待できます。特別な副作用はなく、注入後1週間から効果が出始め、6ヶ月で5割以上、1年で6割以上の方は疼痛が半減する効果が出ますが、約2割の方には効果がありません。一度注入すると効果例では2～3年以上効果が持続します。手術をしたくない方には有力な選択肢の1つとなります。

この治療には以下の特徴があります。

- 自己修復力を利用するため、自然で長期的な効果が期待できる。
- 関節、筋、腱、靭帯、骨や自己修復が難しい組織も修復可能。
- 手術と違って体への負担が少なく、何度でも処置を受けられる。

適応疾患：変形性関節症（膝、股関節、足関節、肩、母指、等）

膝半月板変性断裂、肩腱板損傷

腱付着部炎（テニス肘、野球肘、アキレス腱、ジャンパー膝）

治療の流れ

問診・診察



これまでの痛みや治療歴、既往歴についてお伺いします。

採血



49ccの血液を採取します。

※採血で感染症検査（B、C型肝炎、梅毒、エイズ、ヒトTリンパ好性ウイルス）陽性反応の方は治療はできません。その場合、血液検査費用（11000円）のみご負担いただきます。悪性腫瘍のある方も適応外です。

検査・作成

採取した患者様の血液を厚労省の認可を取得している細胞加工センターに送り、PRP-FD（自己多血小板血漿-フリーズドライ）を作成します。

注射による治療



採血から約3週間後、センターから届いた患者様のPRP-FDを外来で注射します。入院や手術は不要です。

治療後の注意

注射当日の入浴は避けてください。また、注射後数日間は血流の良くなる行為（長時間の入浴、サウナ、運動、飲酒）を控えてください。痛みが強くなる場合があります。

治療費用

・感染症検査+PRP作製費（外部委託先）	100,000 円（税込）
・導入説明、採血、注入費用	50,000 円（税込）
・治療費用の総額	<u>150,000 円（税込）</u>